

平成29年度 第1回東淀川区区政会議 会議録

1 日 時 平成29年7月27日（木）午後8時から

2 場 所 東淀川区役所3階 区民ホール

3 出席者の氏名

（区政会議委員）

岩高 澄議長、阪口 恵藏副議長（教育・子育て部会議長）、岩井 龍男委員、
岩田 芳弘委員（健康・福祉部会議長）、奥原 みゆき委員、角田 夕起子委員、
河江 百合子委員、川上 護夫委員、川崎 敦弘委員、熊谷 佳織委員、小山 幸太委員、
近藤 悟委員、澤山 仁子委員、島田 富男委員、高田 宏志委員、田原 眞里委員、
友實 英之委員、中井 まひる委員、中村 由紀美委員、難波 雅樹委員、西田 真弓委員、
西田 江美子委員、乗上 永枝委員、乗上 芳和委員、畠田 温司委員、原田 仁委員、
藤野 進委員（魅力あるまちをつくろう！部会議長）、松村 禮子委員、三浦 さとみ委員、
水川 賢一郎委員、村富 和広委員（防犯・防災部会議長）、山本 由美子委員、吉村 司委員、
和久 範枝委員、和田 浩明委員

（東淀川区選出市会議員・府議会議員）

守島市会議員、杉山市会議員、宮脇市会議員、笹川府議会議員

（東淀川区役所）

北岡区長、内藤副区長、森本総務課長、西村総合企画担当課長、南隅保健福祉課長、
畠山地域協働まちづくり担当課長、北山安全安心企画担当課長、
吉岡子育て企画担当課長兼教育委員会事務局総務部東淀川区教育担当課長
黒田総務課担当係長他

4 委員に意見を求めた事項

議題（1）平成28年度東淀川区運営方針自己評価について

（2）（仮称）東淀川区将来ビジョン～2022年に向けて～（素案）について

（3）平成30年度に向けた取り組みの方向性について

（4）区政会議スケジュール（案）について

5 議事内容（発言者氏名及び個々の発言内容）

○黒田係長 それでは、定刻になりましたので、ただいまより平成29年度第1回東淀川区区政会議を開会いたします。委員の皆様におかれましては、ご多忙のところご出席いただきまして、誠にありがとうございます。私は、本日の司会進行を務めさせていただきます、東淀川区役所総務課総合企画担当の黒田です。どうぞよろしく願いいたします。

初めに、東淀川区長北岡よりご挨拶申し上げます。

○北岡区長 皆さん、こんばんは。遅い時間まで本当に皆さんありがとうございます。また、暑い中、お集まりいただきまして感謝しております。ありがとうございます。

60回ほど学習会を含めてこの会議をやっておられると聞きまして、非常に驚きましたし、本当にこれだけ熱心に会議やっている区は、ほかにも多分ないと思っております。

私、広報紙の中で、東淀川区は大阪市の北東部のコーナーに位置しますけれども、これだけ熱い議論をしてはるので、東淀川区は大阪市のホットコーナーという名前をつけさせていただきましたPRさせていただきました。本当にありがとうございます。

昨年度の各部会の意見交換の中で、「魅力発信のプロジェクト」、それから「複合課題世帯への総合的支援体制の充実事業」、それから「こどもと地域を結ぶ居場所づくり・学習支援事業」、「体験型食育推進事業」、皆さん方からいただいた意見を今年度スタートさせております。また、防犯・防災部会のご意見からは、「こどもや女性を狙った犯罪や特殊詐欺の抑止」に重点を置くよう方向性を見直しました。本当に皆さん方の意見が区政に生きてると思っております。

本日7時からの部会では、今後5年間の取り組みの方向性を定める「将来ビジョン」や「平成30年度の取り組み」について議論を重ねてこられたと聞いてございます。

本会では、部会を代表して各議長の皆さんから報告をいただいてまいりたいと思いますので、よろしくお願ひします。以上、私の挨拶、簡単ではございますけれども、よろしくお願ひいたします。ありがとうございました。

○黒田係長 本日の出席の市会議員、府議会議員のご紹介をさせていただきます。

市会議員の守島議員です。

○守島議員 こんばんは、よろしくお願ひします。

○黒田係長 杉山議員です。

○杉山議員 こんばんは。よろしくお願ひします。

○黒田係長 宮脇議員です。

○宮脇議員 こんばんは。よろしくお願ひします。

○黒田係長 議員の皆様には条例の規定によりまして、区政会議の議論に対してご助言をお願いいたしたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

本日の定足数の確認をいたします。本日は35名の委員の方にご出席いただいております、委員定数の47人の半数以上でありますので、この会議は有効に成立していることをご報告いたします。

続きまして、事務連絡をさせていただきます。本日の区政会議については、条例規則により、発言者の氏名と発言内容を会議録として作成し、後日公表させていただきますので、あらかじめご了承くださいませようお願いいたします。

また、会議の様子を写真撮影させていただき、ホームページや広報紙などに掲載させていただきますので、よろしくをお願いいたします。もし、掲載に支障があるという方がいらっしゃいましたら、事務局までお声がけいただけますようお願いいたします。

また、先日開催いたしました4つの部会の会議録につきまして、お手元に茶封筒でお配りさせていただいております。内容につきまして、区ホームページにおいて公表させていただきますので、ご自身の発言等の内容につきましてご確認をいただき、訂正がございましたら、お手数ですが、8月4日までに事務局へお伝えいただけますようお願いいたします。

続きまして、本日の予定とお手元の資料について確認をさせていただきます。

お手元に配らせていただいております次第のほう、ご確認ください。

本日の議題は、1つ目が「平成28年度東淀川区運営方針自己評価について」、2つ目が「(仮称)東淀川区将来ビジョン～2022年に向けて～(素案)について」、3つ目が「平成30年度に向けた取り組みの方向性について」、4つ目が「区政会議スケジュール(案)について」となっております。裏面が配席図となっております。

続きまして、前段の部会からご持参いただいていると思うのですが、区政会議の部会別の委員名簿です。右肩に送付資料1と書いているものとなっております。めくっていただきますと、区政会議の運営要綱となっております。

続いて、6月部会で取り上げました「平成28年度運営方針自己評価」をお席に概要部分だけ置かせていただいております。本文、分厚い資料を6月に配布させていただいたものをご持参いただいている方はそちらをご確認ください。続きまして、右肩に送付資料2とあります「(仮称)東淀川区将来ビジョン～2022年に向けて～(素案)」です。続きまして、送付資料3とあります横長の「将来ビジョン～2022年に向けて～(素案)区政会議・委員意見・反映状況一覧」。送付資料4「平成30年度取り組みに向けた区政会議意見まとめ」。送付資料5「区政会議スケジュール(案)」。送付資料6「各部会議事概要」です。部会のほうから引き続きお持ちいただいておりますでしょうか。

資料の不足などございましたらお知らせください。不足などございませんでしたでしょうか。

ありがとうございます。それでは、ここからは岩高議長に進行をお願いしたいと存じます。よろしくお願いいたします。

○岩高議長 皆さん、こんばんは。ご苦労さまです。今回の議長をさせていただきます岩高で

す。座って失礼させていただきます。よろしくお願いいたします。

それでは、早速、本日の議題に入ります。まず、1つ目の議題が「平成28年度東淀川区運営方針自己評価」及び2つ目の議題、仮称ですけれども、「東淀川区将来ビジョン（素案）」についてです。

先月6月15日から29日にかけて4つの部会が開催され、平成28年度運営方針自己評価と将来ビジョンのたたき台について取り上げ、ワークショップ形式によりたくさんのご意見が出されたところでございます。

将来ビジョンについては、今回、一步進んで素案になったところでありますが、区役所より改めてその説明をしていただきたいと思います。

その後、各部会より意見交換の経過を報告していただきたいと思います。

それではまず、区役所のほうから説明をよろしくお願いいたします。

○西村課長 それでは、総合企画担当課長の西村でございます。私のほうから東淀川区の運営方針の自己評価と、それから将来ビジョンについて説明をさせていただきます。

まず、運営方針の自己評価、平成28年度運営方針の自己評価につきまして、一枚物の資料がお手元にいらっしゃると思います。写真が入っている資料です。そちらのほうをご覧ください。

東淀川区では、平成28年度の運営方針につきましては、既に今年の2月の各部会で、一旦年度内振り返りをさせていただきまして、いただいた意見による改善点を平成29年度の運営方針にもう既に反映して、修正させていただいたものを3月の本会でご確認いただいたところでございます。

本日の本会では、それ以降に変更になった、特に事業目標を下回って評価が変わるなど、大きな変更があったものについての内容と今後の改善策について簡単な概要を説明させていただこうと思います。

なお、詳細な変更点の説明や意見交換は、6月の各部会で既に実施いただきましたところでございますので、この後、各議長のほうから意見交換の経過をご報告いただくことになっております。

それでは、この資料なんですけれども、まず、様式2としておまして、重点的に取り組む主な経営課題、ここで下線引きして、この後、下線の引いてあるほうにつきましては、未達成とか、撤退基準の取り組みになっておるものでございます。この中で、特に今申しました2月以降変更になった分についてなんですけれども、1つ目は、経営課題2の「共に生き共に支え合うまちづくり」の戦略2のところでございます。

地域の課題に即した健康施策の実施というところの(1)「女性の平均寿命延伸作戦」、全がん検診受診者数が前年度を下回ってしまった、ということについて説明させていただきます。

がん検診の受診者につきましては、前年よりも2%を増やすということを目指しております。

して、2月時点では27年度に比べて4%増える見込みでございましたが、最終的には、逆に4%の減少となってしまいまして、評価についても「達成できる見込み」というところから、逆に「撤退基準未達成」ということになりました。撤退基準と申しますのは、達成できなかったからやめてしまうのではなくて、別の対策を見直して考えていくという意味でございます。

受診者が減少した要因といたしましては、以前、乳がんと子宮頸がんの検診の無料クーポンというのを配布しておりまして、それをまだ受診されていない方について、平成27年度に、もう一度クーポンを送付しておりました。27年度はそのクーポンが功を奏しまして、受診者数が伸びたんですけれども、平成28年度は、このクーポンがなくなったということで最後の伸びがなかったということで、見込み違いがあったということでございます。

今後の改善点といたしましては、がん検診の予約方法をもっと改善して、キャンセルが少なくなるようなことを考えたりとか、啓発にもっと力を入れていきたいと考えております。

次でございます。経営課題3の「安心して子どもを産み育てることができるまちづくり」でございます。そちらの戦略2の「多様な保育ニーズへの対応」の(1)「保育施設未入所児童解消への対応」というところでございます。未入所児童数が前年度を上回ってしまったと。保育施設へ入れないお子様が、前年度よりも多くなってしまったということでございます。

保育所施設の未入所児童につきましては、5%の減少、5%減ることを目標にしております。昨年10月1日現在では、27年度比較で8.7%の減という見込みだったんですけれども、最終的には、逆に15.4%の増加となってしまいまして、評価といたしましては「達成見込み」から「撤退基準未達成」となってしまいました。保育所の受け入れ可能人数とか、保育所確保の問題とかがありまして、入所枠の調整に非常に時間がかかるという課題がございましたが、今後の改善策といたしましては、今年度、未入所児の多い地域に、大規模な保育所の施設を1カ所、それから区役所庁舎を含む小規模の施設を3カ所開設するというところで、ニーズに対応してまいりたいと考えております。

最後に3点目でございます。経営課題6の「区役所力の強化」のところの戦略3「区民の役に立つ区役所を担う職員づくり」の(2)「コンプライアンスの厳格化」というところでございます。個人情報の処理誤りの発生件数が、前年を上回ってしまいました。コンプライアンスの厳格化をするということで、個人情報の処理誤りの件数を平成27年度の半分にすると。昨年度は11件でしたので、その半分にすると。それから、不適切な事務処理についても前年の8件を半分にするということを目指しておりましたが、今年度の2月時点で、既に個人情報の処理誤りが10件発生しておりまして、不適切な事務処理も4件ということで、既に「未達成」としておったんですけれども、最終的には、個人情報15件、それから不適切な処理が7件となりまして、いずれも前年を上回ってしまいまして、「撤退基準未達成」ということになってしまいました。原因といたしましては、主に再発防止策というのが不十分であったということでご

ざいまして、改善策といたしましては、ほかの区とか、過去の事例とかの原因分析をいたしまして、重点的に対策を行うこと、それから、組織内で情報伝達とか連携をもっと強化していくことで、このようなことが起こらないように、これから取り組んでまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

次に、将来ビジョンについて説明させていただきます。今回はお手元の送付資料2「（仮称）東淀川区将来ビジョン～2022年に向けて～（素案）」という資料をご覧ください。

先ほど部会でも各内容について説明があったものでございます。これにつきまして、6月に開催した部会におきまして、将来ビジョンのたたき台をもとに、今後東淀川区がめざすべき状態、そのために行っていくべき施策につきまして、地域の実情も踏まえて、たくさんの有益なご意見をいただいたところでございます。また、魅力あるまちをつくろう！部会ですとか、教育・子育て部会のほうからは、昨年度、これからめざす姿の部会提言などをいただいておりますので、そちらのほうも大変参考にさせていただきました。

3ページを開けていただきまして、第2章「東淀川区の将来像」で、「住んでよかった、住み続けたい東淀川区の実現」ということで、今までから上げておりました目標を今後も続けていきたいと考えております。この下に1番から5番までの目標の柱を定めておりまして、こちらのほうをこれからやっということうことで定めたところでございます。

次の3章で、それぞれの内容をお示しているところでございますが、それぞれの目標をリード文といいますか、冒頭の文書の中には、1から5の冒頭の文章に全て「地域」という言葉が入りました。区民の皆さんが安心して東淀川区で暮らしていくために、まずは顔の見える関係の中で自助・共助ためのつながりづくりのネットワークを広げていくと。

その次に、支える人・支えられる人の関係を超えて、区民には多様な主体が地域社会に参加して、それぞれの分野を超えてつながることで暮らしを守り、こどもを育て、生きがいを見つけ、にぎわいをつくっていくことが大切だという方向になりました。

区役所は、そのための情報提供やきっかけづくり、つながりづくりなどの施策に取り組み、必要な行政サービスを提供してまいりたいと考えております。

今年の6月に大阪市が示しました「区政改革プラン2.0（区政編）（素案）」におきましても、人と人とのつながりづくりの取り組みや顔の見える関係である自治会・町内会単位の活動を支援するという取り組みが示されておりまして、東淀川区の将来ビジョンとも、これと方向を同じとしているところでございます。本当にたくさんのご意見いただきまして、改めまして感謝申し上げます。

今後、現在作成中となっております、第1章の前文とか、統計資料等の整備、それから本日の部会でいただきましたご意見なども反映いたしまして、9月開催の部会におきまして、皆様に改めまして案として提示させていただきたいと考えております。

その後、11月にはパブリックコメントを実施いたしまして、完成させていただきたいと考えておきまして、その過程におきましても、またご意見をいただければと考えております。

また、平成30年度以降の各取り組みにあたりましては、このめざす将来像のために何をしていくべきかという観点で皆様とともに検討を進めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくをお願いいたします。将来ビジョンにつきましては以上でございます。ありがとうございました。

○岩高議長 ありがとうございます。それでは続きまして、各部会議長から今の議題にかかる部会での意見交換の経過について、ご報告いただきたいと思います。

資料といたしましては、既に送付をいただいております資料の4、6をご確認いただきたいと思います。28年度の運営方針の経営課題の順番にご報告いただきたいと思います。

まず、魅力あるまちをつくろう！部会、そのあと、健康・福祉部会、教育・子育て部会、防犯・防災部会、それぞれに、引き続いてご報告いただきたいと思います。

それではまず、藤野議長からよろしくをお願いいたします。

○藤野議長（魅力あるまちをつくろう！） 魅力あるまちをつくろう！部会議長の藤野です。私たちの部会では、平成28年度運営方針の経営課題1「自助・共助を担う地域力の向上」並びに、経営課題5「地域特性に応じた区政運営」、6「区役所力の強化」について、そしてまた、将来ビジョンの「自助・共助を担う地域力とにぎわいのある元気なまち」、また、「区民の役に立つ区役所があるまち」について意見を交換してまいりました。

今年度は、5月23日に学習会、そして6月29日と、この本会の前に部会を開催いたしました。

平成28年度運営方針の自己評価につきましては、まず、区民まつりについて、活性化させてにぎわいのあるまち・まつりになるように変えていく必要があります、今すぐにでも今後のあり方を検討していく必要があるという意見が出ました。これについて区役所からは、長いスパンで各地域で話し合っ進めていきたいという回答がありました。また、地域活動協議会をはじめ、さまざまな団体が行っている地域活動について、区の地域保健福祉計画にもあるような自助また共助、向こう三軒両隣を踏まえた新しいコミュニティづくりを考えていかなければならないという意見が出ました。また、住民だけではなく、地域と企業や団体を結びつける事案であったりとか、先行事例の共有をしてほしいという意見が出ました。

将来ビジョンに対しては、地域力向上のために5年後のめざす姿では、挨拶や助け合いの中で隣近所の顔が見える関係のあるまち、地域活動の世代交代や情報発信、地域の特性に応じたきめ細かい支援が重要であるという意見が出ました。また、にぎわいについては、世代間の交流ができる場所であったり、イベントであったりという意見。あとは淀川河川公園の自然を生かして活用していくという意見、また、イベントや楽しめる地域の活動があり、子どもたちが元気に遊べるようなまちになればいいという意見が出ました。すみません。これは、将来ビ

ジョンには、「つながりづくりの実施。そのために必要な区役所から地域への情報提供や新たな担い手の発掘・気軽に足を運べる居場所づくりの支援、及び区民への情報発信を積極的に行っていく」といった記載や、にぎわいのタイトルに「元気なまち」を加えるなどして反映されているとのことです。以上となります。

○岩田議長（健康・福祉） 健康・福祉部会議長の岩田です。5月18日に学習会、6月15日に部会を開催しました。

平成28年度自己評価の経営課題2「共に生き共に支え合うまちづくり」について、また将来ビジョンの「健康と福祉にみんなで取り組むまち」について議論してまいりましたので、ご報告させていただきます。

平成28年度運営方針自己評価では、がん検診の受診者数が減少した原因について質問がありました。区役所からの回答といたしまして、健康局の未受診者対策の一環で実施していた乳がん検診等の無料クーポンが平成28年度からなくなったことが原因の一つではないかと考えられるのではないかとということでした。無料クーポンに関して今後も特に要望は上げていくとのことと回答をいただいております。

次に、将来ビジョンの5年後めざす姿では、地域における人々のコミュニケーションが大切で、ネットワークづくりが重要であるという意見や地域だけ、行政だけで頑張ってもだめだという意見。行政への相談を区民が身近に感じることでできる取り組みが重要ではないかという意見がありました。

将来ビジョンには、「地域コミュニティを中心とした『共に支え合い共に生きるまち』の実現に向け、地域における「助け合い」「支え合い」といった取り組みを支援」や「複合課題世帯や生活困窮世帯などの解決に向けた連携ネットワークの充実」といった記載に反映されているとのことでした。以上です。

○阪口議長（教育・子育て） 教育・子育て部会議長の阪口です。

私たちの部会では、4月21日に学習会、6月23日に部会を開催いたしております。

平成28年度自己評価の経営課題3「安心して子どもを産み育てることができるまちづくり」、また将来ビジョンの「子ども・青少年の健全育成に地域が一体となって取り組んでいるまち」について議論してまいりましたのでご報告いたします。

平成28年度運営方針自己評価については、要保護児童対策地域協議会（要対協）の評価について関係機関のアンケート評価だけではなく、他の指標を用いた評価も検討したほうがいいのではないかという意見、あるいは目標達成しなかった保育所の未入所児童解消の対策についても、さらに細かな検証が必要ではないかという意見をいただいております。また、一時保育の利用者数が上がらないことについてもご意見が集まりました。意見に対し区役所のほうからは、要対協については区政会議委員からの意見を参考にしたいということ、あるいは未入所児童解

消については結果を細かく分析して施策につなげていきたい、また、一時預かりの利用促進については従来周知が不十分であった。乳幼児健診を活用するなどしていきたいという回答をいただいております。

将来ビジョンにつきましては、昨年私たちの部会で提言させていただいた三本柱のうちの2つを将来ビジョンの柱としていただくということで、「こどもとおとながお互いに元気になれるまち」と、「すべてのこどもが『生きる力』を身につける『子育て』、『共育』のまち」という二本柱により、地域全体で子育てに取り組んでいき、こどもとともに、おとなも学び育つ環境を構築するということでした。今後も部会においてこの2つの柱に基づいて議論を進めてまいりたいと思っております。以上です。

○村富議長（防犯・防災） 続きまして、防犯・防災部会議長の村富です。

私たちの部会では、5月10日、7月13日に学習会、また6月20日に部会を開催いたしました。

平成28年度自己評価の経営課題4「安全・安心のまちづくり」、また、将来ビジョンの「安全・安心のまち」について議論してまいりました。

平成28年度運営方針自己評価では、特殊詐欺・こどもや女性を狙った犯罪・放火についての啓発や皆門灯をつけるなど、明るいまちづくりが必要ではないかという意見、さらに防犯カメラの設置をアピールして犯罪抑止ができないかなどの意見が多数出ました。

将来ビジョンについては、防災の5年後めざす姿で、高齢化し、5年後はもっと深刻な人材不足になるため、多くの人の防災意識の向上が必要という意見や、地域と小中学校、また区内大学や高校、企業、商店街、寺院、福祉施設など、エリア間全ての主体と合同訓練をするなど連携を深め、さらに隣接地にも広げれば防災力の向上ができるのではないかという意見がありました。

防犯に関しまして暗い場所を歩かないなどの自己防衛策の啓発、さらに地域でも危険な箇所に防犯カメラをつけたり、皆で気をつけることが重要ではないかという意見、さらにまた、そもそも、昔のような地域のつながり結びつきがあり、皆が見守って、お互い見守っていけるといようなまちづくりをすることが犯罪者を近づけないのではないかと。清掃などをはじめとして地域がつながり、こどもが周りを気にせず、安心して遊べるまちづくりが重要という意見がありました。

将来ビジョンの方には、「あらゆる世代の地域住民や団体等（企業や学校）が防災・減災に取り組む訓練や啓発の裾野の拡大」という記載や、「地域の自主的な防犯活動への支援、防犯意識の啓発」といった記載に反映されているということでございます。以上です。

○岩高議長 ありがとうございます。ご出席の議員の皆様には、時間の都合で、後でまとめてご助言いただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

それでは続きまして、3つ目の議題「平成30年度に向けた取り組みの方向性について」です

が、6月部会のワークショップなどで各部会から本当にたくさんのご意見が出されております。30年度の施策に関しても議論を始めたばかりですが、これから芽が出て、伸ばして欲しいという、特に重点的に対応していただきたいという項目を、この前段、7時から各部会で話し合っただけで済みました。各部会からそれについて報告をいただきたいと思っております。

先ほどの順番で、また魅力あるまちをつくろう！部会からよろしくお願ひいたします。

○藤野議長（魅力あるまちをつくろう！） 魅力あるまちをつくろう！部会議長、藤野です。

これまでの部会の中では、平成30年度取り組みに向けた区政会議意見まとめの1ページ目にありますように、まず、担い手の世代交代を進めていけるような取り組みや共助のベースとなる町会の重要性や活動内容の発信、また地域での活動について伝えたい人に気軽に来てもらえるような情報発信が必要という意見がありました。

また、先ほどの部会で意見交換を行いまして、地域の担い手やコミュニティのつながりを強めるための取り組みであるとか、あとはにぎわいづくりに関する取り組みを進めるために、まちの魅力や地域の活動に関する情報を発信の仕方であるとか、あと、活用の仕方を考えていくという意見が出ました。また今後話し合いをまた進めていきたいと思っております。以上です。

○岩田議長（健康・福祉） 健康・福祉部会議長の岩田です。これまでの部会の中では、行政相談をもっと身近にする取り組みに関する意見や、ひきこもりの方を地域でどう把握し、対応していくかという意見、認知症に関心が高まっているので、認知症予防の取り組みができないかという意見、介護等の担い手について研修の敷居を下げて、働いている人や学生にも研修を受けやすくするべきという意見、生活困窮者への支援や複合課題世帯への支援など、東淀川区が他区に先駆けて実施している福祉施策が多く、そういう点をもっとアピールしてはどうかという意見がありました。

そして、先ほどの部会では、さらに意見交換をいたしまして、重要性が高いという理由として項目12番の「行政相談をもっと身近にしてほしい」について、項目14番の「ひきこもりの人をどう地域で対応していくか」について、特に今後検討の必要があるのではないかという話し合いを行いました。報告は以上です。

○阪口議長（教育・子育て） 教育・子育て部会議長の阪口です。これまでの部会の中では、こども食堂など、こどもが安心できて、保護者も一緒に来られて楽しめる、温かい居場所を各地につくっていくことが重要という意見、あるいはこどもが夢や目標を持ったり頑張るきっかけづくりのために、トップアスリートや地元出身で活躍されている身近に感じられる有名人などのお話を聞いたり、交流したりするということをすればよいのではないかと。それが自尊感情の向上の一助になるのではないかとのご意見、また、家庭が人間関係の根本で大事という家庭教育の見直しも必要であるというご意見、さまざまなコミュニケーションツールを用いて、こどもとおとな、お年寄りも含めて地域で交流していけば地域の人間関係が広がっていくので

はというご意見などがありました。

先ほどの部会では、それぞれ今までいただいたご意見を中心に、各委員の皆さんが重点的に取り組む内容について選択されています。その集約結果をもとに今後の部会で議論を深めてまいりたいと思っております。報告は以上です。

○村富議長（防犯・防災） 防犯・防災部会議長の村富です。これまでの部会の中では、防災に関しましては、訓練に関心のない多くの若い人の防災意識の向上が重要という意見やエリア内の連携強化が必要で、小中学校・大学・高校・企業・商店街などが連携して訓練することが重要という意見、災害時の避難経路の確保や防災意識向上のために倒壊危険箇所等の合同点検をしてはどうかという意見、備蓄物についても確保が重要という意見がありました。

防犯に関しては、こちらでも担い手の確保や情報発信についての意見、また地域がつながり、ごみへの放火を抑止するためにも町会単位の清掃やつながりづくりが必要という意見、「美化の日」の呼びかけはいかがという意見がありました。また、連携強化をすることについては、企業と連携したり、青パトを地域間での乗り合いができないかなどの意見がありました。

なお、先ほどの部会で出ました内容としましては、「連携」のところになりますが、項目番号8番、9番、10番、11番、12番、さらにその裏面になりますけれども、その番号で17番「地域力による抑止」、また、「意識啓発」の19番、その下の20番というところで多くの意見が集まりました。8番、9番、10番、11番につきましては、連携やってきておりますけれども、地域への学校や企業、商店街や寺院、福祉施設等々を含めた連携の強化がなければならないと。また、地域の若い人たちだけではなく、高齢者の中で、まだボランティア活動に目を向けていない方々の新しい人材発掘という点にも意見を寄せられました。12番につきましては、青パトについての啓発力の強化、とりわけ音声の部材等については、もっとわかりやすいものにしてみてはどうかなどの意見が寄せられております。さらに19番につきましては、今増えています特殊詐欺や消費者被害等の勉強会・講習会で、高齢者の方に実情の周知を深めていくこと、特に、事案があったところでお知らせの案内を出して、地域の高齢者が被害にあわないような勉強会をしてはどうかという意見がございました。20番の自転車の走行マナーの問題については、講習などが必要、自転車の運用についてのルールがまだわからないのではないかと、それに対する学習会をこれから強化していかないといけないのではないかとという意見、また自転車の駐輪もしくは運転マナーをより周知するために青パトの音声を利用してはどうかなどの意見が多数寄せられております。その中で、自転車走行マップ等の作成があれば、なおよろしいのではないかと意見をいただきました。

なお、17番の女性の狙われる犯罪というのも出ておりますけれども、概ね、今行っております内容をさらに推し進めてみてはどうかという意見でまとまっております。以上です。

○岩高議長 ありがとうございます。それでは、ここでご出席の議員の皆様よりご助言をい

ただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

○杉山議員 すみません、助言というか、僕、区役所の職員の方々にちょっと質問したくてです。いいですか、質問させてもらっても。

青パトの話ですけれども、これ、僕が区政会議の委員やっていたときから同じようなことを言っていて、あの当時は、区内全域は走行できなかったけれども、今は区内全域を走行できるようになってきているというふうに状況は聞いていますが、これ、ほんまにやろうと思ったときに、まず1点目は、例えば菅原地域で青パト乗りますよみたいなのをもらった人が、違う、例えば淡路の地域で乗るということは大丈夫なのかどうか、ちょっと教えてください。

○北山課長 安全・安心担当課長の北山です。防犯・防災部会の委員さんのほうからも、そういった広域の連携のご意見出ておりましたので、今後、確認と調整と検討のほうを進めていきたいと思っております。

○杉山議員 ありがとうございます。確か、あの当時から、複数の地域にまたがって乗る場合に、そのガソリン代の負担の問題があったと思うんですけれども、そのあたり共通の、例えばプリペイド的なものをつくるとか、いろいろやり方はあると思うんで。そろそろ担い手をせっかく発掘しても、その担い手が乗れない状態だったら、全く意味ないので、こうしたスキームをつくるようにちょっと前向きに動いていただきますようによろしく願いいたします。以上です。

○岩高議長 ほかに何かいかがでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

各部会で意見交換し、その中でも重点的に対応いただきたいものということでご報告いただきました。

今後、平成30年度の施策や運営方針策定に向けて、区役所のほうでご検討いただけるということで、よろしく願いをいたしたいと思っております。昨年のように多くの施策にこれがつながっていけばいいと思っておりますので、よろしく願いをいたします。

それでは続きまして、今後の区政会議スケジュールについて、区役所のほうからご説明いただきたいと思っております。

○西村課長 総合企画担当課長の西村です。スケジュールについて説明させていただきます。送付資料の5番というのをご覧ください。今、岩高議長からもございましたように、9月28日の区政会議本会に向けて、これから部会・学習会を進めてまいりたいと考えております。

まず、9月上旬に各部会のほうが開催されます。9月7日と13、14日ということで今日程を決めさせていただいております。

議題といたしましては、将来ビジョンの案について、それから平成30年度の運営方針の原案について、それから市政改革プラン2.0の区政編についてを予定しております。

それから、9月28日が本会と部会ということになっております。

それに向けての学習会がございまして、現在決定分だけ申し上げますと、7月13日のは終わりましたので、8月10日から25日ということで今決めております。8月21日木曜日になっておりますが、すみません、月曜日に訂正をお願いいたします。このような日程間で今後進めてまいりたいと考えております。

それから、並行して委員の改選というのがございまして。今現在、区政会議委員をやっているのですが、任期が9月末日ということになっております。公募委員の15名につきましては、今回6名程度を新たに公募するというので、8月1日から公募を開始したいと考えております。

それから、地域活動協議会からの推薦委員でございまして、各地域から2名ずつをお願いしております。先日7月26日の地域活動協議会連絡会議のほうで推薦のお願いをしたところがございます。

ということで、10月1日には委員の改選をする予定でございまして、その後に説明会を考えております。また、11月上旬になりましたら、最初の区政会議本会を開きまして、部会長の決定をしてみたいと考えておりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。以上でございます。

○岩高議長 はい、ありがとうございます。本日の本会の議事は以上になります。皆様、どうもありがとうございます。それでは、ここからは進行を事務局のほうにお返ししたいと思います。

○黒田係長 岩高議長、ありがとうございます。毎回のご依頼となりますが、地活協推薦の委員の皆様におかれましては、区政会議と地域の架け橋ということで、本日の内容を地域でお話し合いしていただきたいと思っております。その中から地域の意見を吸い上げていただきまして、この区政会議にまたフィードバックしていただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

公募委員の皆様におかれましても、ぜひご自身の所属団体やお住まいの地域において意見交換をされ、この区政会議にフィードバックいただきたいと存じます。どうぞよろしくをお願いいたします。最後に区長よりご挨拶させていただきます。

○北岡区長 皆さん本当にありがとうございました。

2025年大阪万博をめざしておるんですけども、万博が来るかどうかわかりませんが、間違いなくやってくるのが2025年問題と言われております。ほかにも貧困の問題、あるいは子育ての問題、それから認知症の問題など、しかもこれが複合的に重なり合ってくるような大変難しい時代になってまいりました。

本当に、あそこのおじいちゃん、おばあちゃんどないしてるのかなとか、お体の不自由な方、どないされてんのかなといったことが非常に大切になってくるんじゃないかなというふうに思っております。まさに、先ほどお話出ていましたように、顔の見える関係というのが一番大

切じゃないかと、そのためには、これまで以上に地域の力というのが必要になってくるというふうに思っております。

また、南海トラフ地震も、学者によりますと、30年以内に間違いなくやってくるだろうというふうに言われております。

防犯につきましても、犯罪のない、こどもの笑顔あふれるまちにもしていかなきゃいけない。非常に問題がたくさんありますし、量的にたくさんするところもあるんですけども、行政としましては、皆さん方の力をお借りしながら、本当に東淀川区が素晴らしい区になりますように取り組んでまいりますので、今後ともご協力のほどよろしく願いいたします。本日は、本当にありがとうございました。以上でございます。

○黒田係長 それでは、これをもちまして区政会議を閉会いたします。皆様ありがとうございました。